

【桂中学校区 めざす子ども像】 『夢に向かって 誇りをもち 絆を育む』子どもの育成

中学校区の教職員が共有する柱となるキーワードとして「夢・誇り・絆」を設定し、中学校卒業時に真の「生きる力」を身に付けた生徒の育成をめざし、「中学校9カ年」の取組みを進めています。

夢：夢・目標を持ち、夢・目標に向かってその実現のために努力する子ども

誇り：自他を大切にでき、自分や仲間、自分たちの学校や地域に誇りをもって前向きに行動できる子ども

絆：人と人のつながりを大切に、絆を深めていける子ども

☆今年度も、全校の担当者が集まる「小中一貫教育担当者会」において、他の校区の教員へ取組み例を示し、小中一貫教育の推進を図っています。

1. 組織として中学校区で小中一貫教育を推し進めるモデル

全ての部会は、桂小、北山本小、桂中の教職員で構成されており、教職員から様々な議題が出され、取組案についても推進会議で協議され、校区の子ども達にとってよりよい教育が行われるように工夫されている。

桂中学校区小中一貫教育推進会議											
総務部			連携教育部			事務部			健康生活部		
学力向上委員会				生活指導委員会				人権教育委員会			
2部会				2部会				2部会			

校区の教職員が一緒になって、
子どもの学びを考え話し合う
ことが大切！



2. アプローチレッスン、小学生中学生による取組み

桂小学校、北山本小学校の児童が同時に桂中学校に集まり、中学教員による授業体験、部活動体験などを行う。各学期に1回、年間3回実施される。

生徒会のメンバーが
直接、説明してくれます。



中学に入学する前に、違う学校の友だちと一緒に中学で体験できて、話せてよかった。中学での勉強も、おもしろかった。

2学期も楽しみ！中学校の先生も、この前、小学校の授業を見に来てくれた！

校区での取組みで、キャラクターを両小学生から募集し、中学生が選考し、新キャラクターとして完成。
子ども達も、校区みんなで取組んでいる意識をアップ！

3. キャリア教育推進

校区でキャリア教育を推進するために、教職員への研修実施。子どもたちへも様々なプログラムでキャリア教育推進の授業を進めています。今年度の取組みをまとめ、次年度の小中一貫教育担当者会で報告予定。